

慶應義塾大学 総合政策学部、環境情報学部、政策・メディア研究科
環境情報学 教員募集

総合政策学部、環境情報学部、政策・メディア研究科では新たな環境情報学を開拓するために5名の教員を同時に募集いたします。

慶應義塾大学は1990年に湘南藤沢キャンパス(以下SFC)を開設し、日本で初めて「環境情報学部」を設置しました。SFCにおける「環境情報学」は、いわゆる環境や情報に関わる分野に限定されず、時代に先駆けた新領域・新分野も数多く立ち上がってきました。一方で、21世紀に入り四半世紀が過ぎようとしています。環境問題は解決するどころかますます深刻になっています。また、近年の生成AIの急速な発展と普及を挙げるまでもなく情報の重要性は格段に高まっています。ますます複雑化する地球環境や人間社会の問題に対し、環境情報学による分野融合の創造的な人材の育成が喫緊とされています。

本公募では、SFCの環境情報学を新たな段階に導くために最大5名の教員を同時に募集するものです。自然科学を基盤とした環境情報学に軸足を置きつつ、総合政策学部の学問領域とも連携し、新たな環境情報学を生み出していける人材を募集します。加えて、SFCに着任以降、これまでのご自身の専門分野を越えて、新たな領域を生み出すことができる人材を求めています。

対象となる職種は専任教員、教員(有期)、教員(有期・テニュアトラック)とします。専任教員とは任期のない教員(慶應義塾大学の定年は65歳です)で、教員(有期)の場合は最長5年(単年度契約)、教員(有期・テニュアトラック)は最長5年(単年度契約)の間にテニュアの審査を受けて合格すれば専任教員に移行するものです。書類審査を通過し、二次審査(第一次面接)の対象となった候補者には、いずれの職種で選考の対象となっているか二次審査の前にお知らせします。

慶應義塾では、研究はもちろんのこと、教育に強い熱意と関心を持っている人材を教員として採用してきております。特に、環境情報学部・総合政策学部では研究会をカリキュラムの中心に据えているので、研究会において学生とともに研究活動ができることが教員に必要な最も大きな資質の一つです。また、本公募で採用予定の教員には、データサイエンス科目や情報系科目を少なくとも一つ担当いただく予定です。加えて、一つ以上の授業を英語で開講することを必須としています。

なお、慶應義塾は、「協生環境推進憲章」に基づき、ダイバーシティの実現を推進しています。教員採用の人事審査において、年齢・性別・SOGI(性的指向・性自認)・障害・文化・国籍・人種・信条・ライフスタイルを理由とするいかなる差別も行わないことを申し合わせ

ています。また、慶應義塾では男女共同参画を推進しています。

募集要項

1. 所属機関名・部署名	慶應義塾大学 環境情報学部（湘南藤沢キャンパス）
2. 所在地	神奈川県藤沢市遠藤 5322
3. 職種	専任教員、教員（有期）または教員（有期・テニュアトラック） （職種・職位は業績等により決定）
4. 待遇	給与等は慶應義塾の規程に基づき、年齢・学歴・職歴等により決定。 社会保険加入、通勤交通費補助。
5. 任期	専任教員は任期なし 教員（有期）は最長 5 年（単年度契約） 教員（有期・テニュアトラック）は最長 5 年（単年度契約）とし、 任期中の審査により専任教員（任期なし）に移行する場合がある。
6. 勤務形態	常勤
7. 人員	最大 5 名
8. 研究分野	環境システム、情報システム（これらに限定しない）に軸足を 置きつつ、環境情報学部の 5 つの研究領域（以下を参照 https://www.sfc.keio.ac.jp/academics/pmei/research_fields/ ） で活躍し、さらに総合政策学部の学問領域とも連携して、新た な環境情報の領域を生み出していける方。
9. 担当科目	学部科目、学部研究会、大学院科目等
10. その他の業務内容	塾内各種委員会、諸会議出席等
11. 応募資格	1) 慶應義塾および湘南藤沢キャンパス（SFC）の教育・研究理念 に共感できる。 2) 自らの専門分野に関する博士の学位を有するか、着任時までに 取得している。 3) 学部および大学院生を意欲的に研究指導できる。 4) 英語を教育・研究において用いることができる（通常、英語に よる授業を 1 科目担当頂いています）。 5) 自らの専門領域の研究だけではなく、他分野の専門家と積極的 に協働し、教育・研究および大学運営を推進できる。 6) 着任後、日本に在住し、SFC に通勤できる。
12. 書類提出締切	2025 年 3 月 31 日（月） 15:00
13. 着任時期	2025 年 9 月、2026 年 4 月または 2026 年 9 月
14. 応募書類	以下の書類一式を Web エントリーシステムから電子媒体で提出。

	書類はすべて PDF 形式指定とする。 【Web エントリーシステム】 https://entry.jinji.keio.ac.jp/index.php?id=20251 1) 学歴・職務経歴書（様式自由。A4 版 1 枚。専門領域、教歴を含めること） 2) 研究業績一覧表（発表論文、書籍、口頭発表、担当授業等） 3) 3～5 点の主要論文の抜き刷りまたは制作物の写し 4) これまでの教育研究内容の紹介、今後の教育研究に関する展望および SFC への貢献の構想をまとめたもの（A4 サイズで 3 枚以内） 5) 推薦書(2 名) ※推薦者から以下の URL から推薦書を提出（ファイル名は「応募者氏名_推薦者氏名.pdf」） https://keio.app.box.com/f/a7284d2d743e4d6cb5c8d3178d3d5eed ファイル名の例: 応募者が慶應太郎、推薦者が藤沢花子の場合 TaroKeio_HanakoFujisawa.pdf
15. 選抜プロセスおよび採否の決定	書類審査、第一次面接（模擬授業を含む場合あり）、第二次面接を経て採否の決定を行う。ただし、選考過程における採用決定に関する情報は非公開とする。なお採否は選考が終了した後にメールで通知する。
16. 問い合わせ先	慶應義塾湘南藤沢事務室 総務担当人事採用室 jinji-fro@sfc.keio.ac.jp
17. SFC についての情報	https://www.sfc.keio.ac.jp
18. その他	【安全保障輸出管理について】 慶應義塾は、「外国為替及び外国貿易法」等に基づく安全保障輸出管理を行なっています。それにより、採用決定後においても、希望する教育や研究ができない場合があります。 ※詳細については、以下の経済産業省ウェブサイトを参照してください。 《経済産業省ウェブサイト》 https://www.meti.go.jp/policy/anpo/

2024 年 12 月
慶應義塾大学
総合政策学部長
環境情報学部長
政策・メディア研究科委員長